

教科別授業改善推進プラン（生活科）

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・季節ごとにかいた観察カードを比較することで、植物の成長の変化に気付くことができた。
- ・自分の気付きや考えをもち、友達に伝えたり、文章に書いて表現したりすることができるようになった。

(2) 課題

- ・自分の考えや思いを表現する力に関して個人差が大きい。
- ・植物の変化や身近な人々との関わりについて、直接的な経験や体験が少ない。

2 重点課題

1 年	・身近な自然に関心をもち、季節ごとの特徴に気付いたり、働きかけて楽しんだりすること。 ・身近な人々との関わりに気付き、自分の役割について考えること。
2 年	・動植物を観察する際に、成長の変化に気付き、自分の考えや思いをもつこと。 ・身近な人々との関わりに気付き、自分の考えをもち、表現すること。

3 授業改善策

1 年	・身近な自然を観察したり、活用して楽しんだりする活動を行う。児童のつぶやきから気付きを取り上げ、全体に広げていく。 ・自分たちの生活を支えている人たちの姿に目を向けさせ、思いに気付かせるとともに、自分たちにできることを考えさせていく。 ・活動後の振り返りの時間を十分に確保し、自分たちの活動の価値に気付くことができるようにする。
2 年	・動植物を観察する視点を視覚的に示す。 ・対話やペアトークを通じて全体で考えを共有し動植物や自分自身の変化への気付きを促す。 ・ねらいを明確に示す。児童一人一人に声を掛け、気付きや思いを引き出し、表現するよう的確な助言をする。
二学年 共通	・自然のよさや変化に気付くことができるようにするために、実物に触れる機会を多く設けたり、体験活動を充実させたりする。 ・自然を活かした楽しみ方を話し合い、取り組む。